

モルパット45

ホルムアルデヒド放散等級
F☆☆☆☆
NSK - 0812010

「モルパット45」は、タイルメチ材・貼付け材のキクスイが提供する安全なモルタル接着材です。
セメント混和用ポリマーディスペーションの規格を満足する性能を確保し、また公共建築協会の吸水調整材（Bタイプ）規格にも適合しています。

特長

01 塗布・セメント混和として

JIS A 6203セメント混和用ポリマーディスペーションの規格を満足する性能を確保しています。また公共建築協会 吸水調整材（Bタイプ）の規格にも適合しています。

02 エチレン酢ビ系製品

長い実績のあるエチレン酢ビ系樹脂（EVA）を使用しています。壁面のモルタル接着・混和にはベストです。

用途

- ・コンクリート・セメントモルタル・コンクリートブロック等への吸水調整
- ・建築物壁面・床面等のモルタル接着増強材
- ・補修用モルタルへの混和

適用下地

コンクリート・セメントモルタル・コンクリートブロック 等

●標準施工仕様

仕様	材料・調合	施工用具	間隔時間 (hr)	塗回数	用途	使用量
塗付工法 (吸水調整)	モルパット45 主材：18kg 清水：72L	ウールローラー 水性はけ エアレス 等	2以上 (20℃)	1	壁	450～900㎡/18kg缶 0.10～0.20kg/㎡ (5倍液)
					床	450～600㎡/18kg缶 0.15～0.20kg/㎡ (5倍液)
				2	A L C	230～300㎡/18kg缶 0.30～0.40kg/㎡ (5倍液)
仕様	材料・調合	施工用具	使用量			
モルタル混和工法	普通ポルトランドセメント：25kg 左官用砂：20～75kg メチルセルロース：適宜 モルパット45：2.5～5.5kg 清水：適宜	コテ	適宜			

(注) 上記の各数値は、全て標準のものです。施工方法、施工条件により各々多少の幅を生じることがあります。

1) 素地調整

- ・コンクリート面の突起物、レイトンス及び白華は、グラインダーがけ又は皮スキ等で除去して下さい
- ・汚れ及び付着物は、ワイヤーブラシ・研磨紙・布等で除去し、必要に応じて水洗いを行って下さい。
- ・下地のひび割れ、破損、浮きなどはBR工法等で適切な処理をして下さい。・下地面に残留する金属（番線・くぎ等）は除去して下さい。

(2) 材料の取扱い(混ぜ合わせ)

- 《A：塗布工法(吸水調整)》・モルパット45を1kgに対し清水4Lを加え均一に混ぜ合わせ使用します。
- 《B：モルタル混和工法》・材料の調合は上記範囲内で行ってください

(3) 施工

- 《A：塗布工法(吸水調整)》・ローラー塗り・刷毛塗り又はスプレーにて塗布して下さい。・モルタルの塗り付けは、モルパット45の塗布後、長期間の放置は塵埃等の付着によって付着力が低下しますので、なるべく早い時期にモルタル塗りを行って下さい。
- 《B：モルタル混和工法》・モルパット45混入モルタルを補修箇所へ充填し、表面を平滑に仕上げて下さい。
 - ・1回の塗り厚は、7mm以下にして下さい。それ以上厚塗りする場合は、硬化状態を確認しながら数回に分けてくし目を入れ、塗り重ねて下さい。
 - ・塗り付け後は、24時間以上養生をして下さい。

モルパット45

荷 姿

NET 18kg/缶入



注意点

掲載製品を取り扱う際は、各製品のSDS及び標準施工仕様書、注意事項を守って施工してください。
※上記の各種製品データは、**kikusuiダウンロードサイト**（『キクスイダウンロードサイト』を検索）でご確認ください。



 **菊水化学工業株式会社** 本社
☎ 052-300-2222(代)

ホームページ <https://www.kikusui-chem.co.jp/>



仙 台	☎ 022-706-5710	大 阪	☎ 06-7668-5320
東 京	☎ 03-3981-2500	福 岡	☎ 092-433-6262
名 古 屋	☎ 0568-69-5200		